

患者さんと試験のデータを一元的に把握し、より効率的な試験を実現

スポンサーとCROが直面する課題

360
万のデータ
ポイント

フェーズIII試験で発生¹

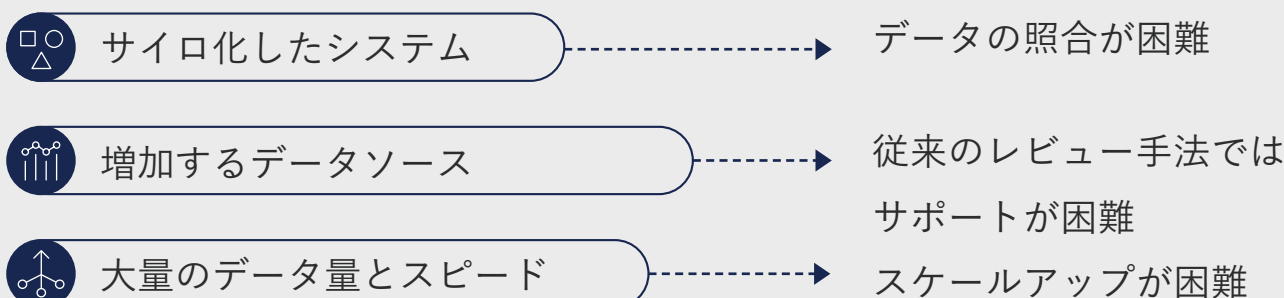
3倍
以上の
データ収集量

10年前の期臨床試験との比較²

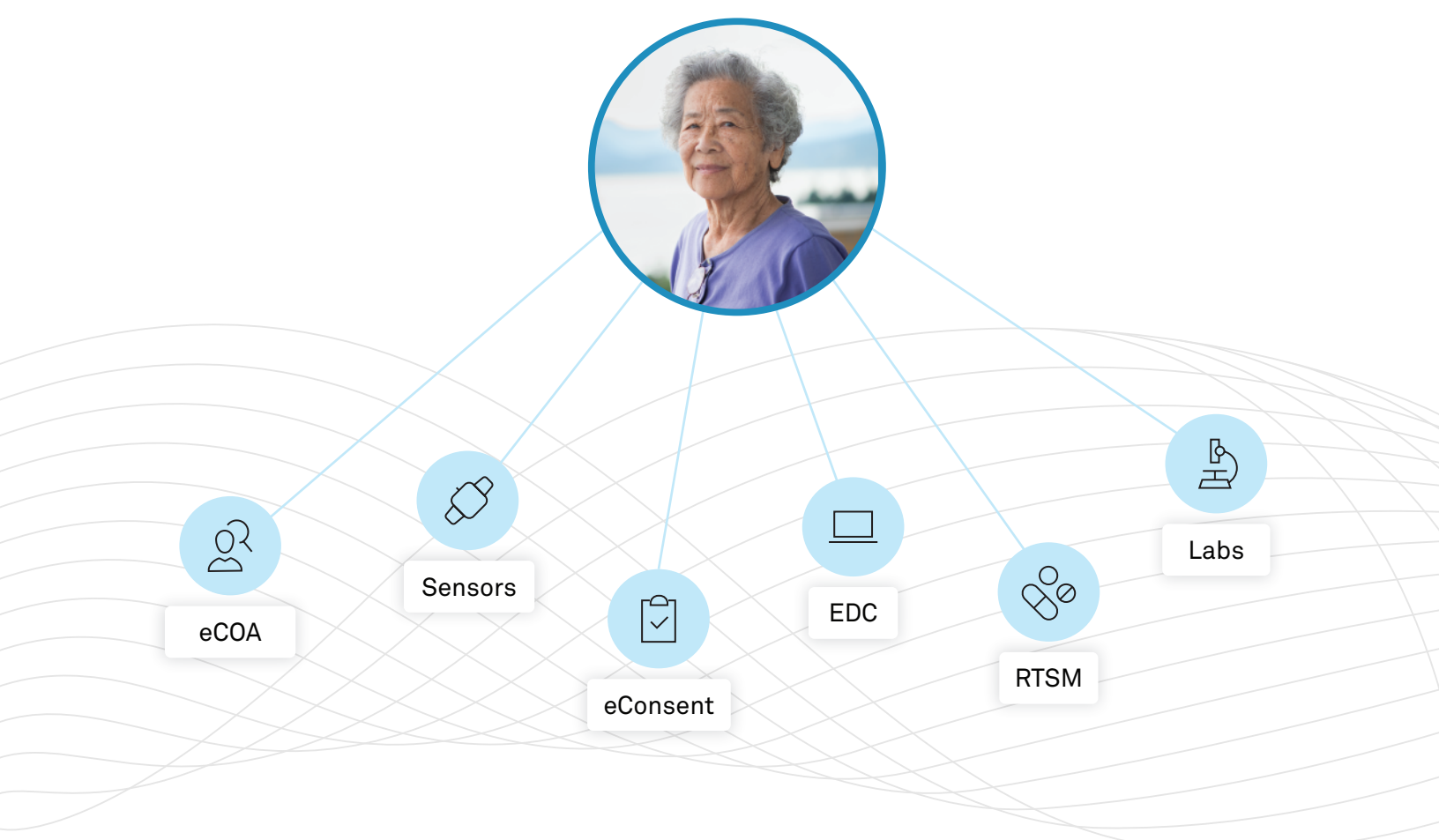
263
患者1人当たり
の施術数

約20のエンドポイントをサポートするフェーズIIおよびIIIのプロトコル³

取得するデータの量が増えるにつれ、モニタリングとデータ管理のプロセスは、データの収集方法と場所に適応し、追加のリソースなしで問題を検出し、クリーニングするためのスケールが必要となります。



患者中心の統合プラットフォームで、患者の全貌を把握する



既存のEDCシステムを補完するために、メディデータのPatient Cloudと臨床試験ソリューションは、統一されたプラットフォーム上に統合されています。あらゆるソースからのデータは、ほぼリアルタイムで集約され、一元化された試験デザインに標準化され、時系列で患者の360°ビューを提供します。

RAVE EDC、RAVE RTSM、PATIENT CLOUDにより最大で2ヶ月⁴早く試験期間の短縮が可能



eConsent、eCOA、Sensor CloudなどのMedidata Patient Cloudソリューションは、Rave EDC、RTSM、メディデータ統合プラットフォームと容易に統合しながらデータを取り込み、分析できるため、スポンサーとCROは患者体験全体について幅広い視野を得ることができます。このエンドツーエンドのアプローチは、以下のメリットを提供します。

- リアルタイムのデータインサイトで即座に意思決定
- 効率的でシームレスな試験途中での変更
- プロセスの自動化・合理化
- 1つのシステムで統一することで、試験立ち上げコストを削減

1, 2, 3. Tufts CSDD Impact Report, 2021
4. EDC+少なくとも1つの追加製品 vs. EDCのみの試験におけるFPIからLPLVまでの時間中央値の差の分析 (p<0.05) 2017年から2021年; 59日短縮